



# リーガルチェックを済ませよう





契約書をつくろう



企業価値の根幹となる重要な契約書はなにか  
弁護士によるリーガルチェックを済ませ、適法かつ適正につくろう

### 契約書で確認すべきポイント

- ・ 知的財産権
- ・ 許認可
- ・ 訴訟・クレーム
- ・ コンプライアンス



# 知的財産権

---



## ◆ 知的財産権とは

生み出されてたアイデアや創作物などには、財産的な価値を持つものがある  
それらを法律で規定された権利や利益を保護するもの

知的財産権で守るものは、企業価値の根幹となり、守るべき重要な項目

例

- ・ 商標や特許
- ・ マニュアル
- ・ オリジナルの商材
- ・ デザインや画像



許認可



## ◆ 必要な許認可を調べよう

- ・その事業を行う上で必要な許可は何か？

例

美容室	
必要な許可	美容所開設届
必要な資格	美容師免許

整骨院	
必要な許可	施術所開設届
必要な資格	柔道整復師免許

- ・その許可は容易に取得可能か？

開設届が受理されるまでの期間  
免許等を取得するまでの期間

- ・その許可が取り消される恐れはないか？

各許認可申請時に行政処分や免許取り消しになる条件を確認



訴訟・クレーム





## ◆ 訴訟やクレームに対するの備え

- ・実際に過去受けたことがあるクレームはどのようなものか

**以前勤めていた会社などで実際に受けたクレームを書き出す**

そのクレームに対するの対応マニュアルを用意することで損害を最小限にすることができる

- ・訴訟に発展したクレームはあるか

**訴訟に発展したクレームがある場合、事前に対応方法を弁護士に確認しておく**

- ・将来起こりうる訴訟とその金銭リスクは明確に把握しているか

**同じ業界での訴訟事例を調べ、対応方法を用意しておく**



# コンプライアンス



## ◆ コンプライアンスを確認しよう

- ・運営上、法令違反を指摘される要素はないか？

**内容によっては、市町村によって判断基準が違う場合がある**

例

店内の託児所の設置

同店舗での別事業の運営

- ・その対処法は何か？

**事前に厚生労働省や市町村の管轄に確認する**

出店後の変更だと、必要以上の経費や最悪営業停止になる可能性があるため事前確認が必要

特に店舗展開を考えている人は必須